

令和5年度 庄原市生徒指導主事等研修会

開催日：令和5年7月13日（木） 開催場所：庄原市総合体育館 会議室

生徒指導主事等としての役割を理解し、組織的・継続的な取組ができる生徒指導体制の確立を図るとともに、生徒指導主事等としての資質・能力の向上を図ることを目的とし、研修会を行った。

【講話】「生徒指導上の諸課題の現状と課題について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 福田 和宏

庄原市の生徒指導上の諸課題について、令和3年度の全国や広島県の実態と比較しながら説明した。令和3年度の生徒指導上の諸課題は全国的に増加傾向であるが、特に不登校児童生徒について、本市ではその傾向がより大きく、深刻な課題である。令和4年度の児童生徒の自殺者数は過去最多を更新し、さらに令和3年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数も過去最多を更新するなど、児童生徒を取り巻く環境は年々厳しさを増しており、「チーム学校」として組織的な対応が求められている。

【報告】「令和4年度いじめ問題理解基幹研修を終えて」

庄原市立西城中学校 生徒指導主事 瀧口 崇志

令和4年度いじめ問題理解基幹研修を受講した。学校は、いじめはどこの学校でも、どの子供にも起こり得るものと捉え、指導・支援していくことが重要である。未然防止につながる軽微なものからしっかりと認知し、組織的に対応すること、すなわち「いじめ見逃し0」を進めていくことが重要である。いじめ問題理解基幹研修受講後、2つのことを実践した。1つ目は、生徒指導提要の改訂に係る教職員研修を行った。自校の課題を踏まえ、生徒理解のために何をするのか、どのような力を身に付けさせたいかなどの実践例を考えた。2つ目は、いじめ問題理解基幹研修の内容を活用して「発達支持的生徒指導」の視点を生かし、生徒の自己肯定感と自己有用感を高め、生徒の主体的な行動を促す「西中つながりプロジェクト」を実践した。実践と改善を図りながら、さらに充実させていきたい。



【講話・演習】「生徒指導主事等の役割」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 福田 和宏

生徒指導の目的は、児童生徒一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長と社会的資質・能力の発達を支えると同時に、自己の幸福追求と社会に受け入れられる自己実現を支えることである。また、生徒指導の目的を達成するためには、児童生徒一人一人が自己指導能力を身に付けることが重要である。生徒指導提要では、生徒指導の実践上の視点として、「自己存在感の感受」、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成が示されている。生徒指導主事等として、自己指導能力を育成する4つの視点から、具体的にどのような教育活動が実践できるか、演習を行った。



【指導・助言】

広島県北部教育事務所 教育指導課 指導主事 塩田 佐恵

「いじめ見逃し0」に向け、学校の早期発見・対応が大切となる。自分の悩みを相談できない児童生徒が存在することにも留意し、児童生徒の変化、不安定な現状を複数の先生方で見取るなど、実効性のある取組にすることが重要である。児童生徒一人一人が学ぶ喜びを実感し、活躍できる場を意図的に設定する。

（事後アンケートより）

- 自校の児童生徒の実態から課題を明確にし、不登校やいじめなどを未然防止できるような発達支持的な生徒指導を行う。全ての教育活動の中でも授業による生徒指導に力を入れていく。
- 自己有用感を高める西城中の「西中プロジェクト」のように、生徒のつながりを作るしかけを意識したい。また、未然防止を意識した生徒指導を進めたい。
- 生徒指導の実践上の4つの視点を意識した取組を、今後も実践していく。また、「いじめ0」ではなく、「いじめ見逃し0」に向けて、生徒をしっかりと見ていくことを、全教職員で確認していく。